

$6\vec{PA} + 3\vec{PB} + 4\vec{PC} + 5\vec{PD} = \vec{0}$ を満たす四面体 ABCD と点 P がある.

(1) 点 P はどのような位置にあるか.

(2) 4つの四面体 PBCD, PCDA, PDAB, PABC の体積比を求めよ.

$a\vec{PA} + b\vec{PB} + c\vec{PC} + d\vec{PD} = \vec{0}$ を満たす点 P の位置

平面の $a\vec{PA} + b\vec{PB} + c\vec{PC} = \vec{0}$ を満たす点 P の位置問題と同様に考える.
始点を A に統一して \vec{AP} を求め、無理矢理**内分点の公式の形**に変形する.
 これで、P が A から見てどんな位置にあるかが求まる.

$$(1) -6\vec{AP} + 3(\vec{AB} - \vec{AP}) + 4(\vec{AC} - \vec{AP}) + 5(\vec{AD} - \vec{AP}) = \vec{0} \quad \text{より}$$

$$\begin{aligned} \vec{AP} &= \frac{1}{18}(3\vec{AB} + 4\vec{AC} + 5\vec{AD}) \\ &= \frac{1}{18} \left(7 \cdot \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AC}}{4+3} + 5\vec{AD} \right) \end{aligned}$$

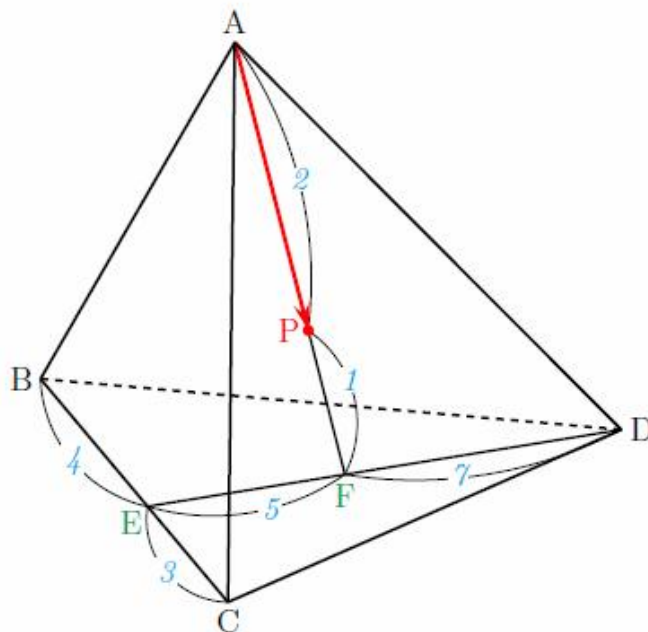
ここで、 $\vec{AE} = \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AC}}{4+3}$ とおくと [E は BC を 4:3 に内分]

$$\vec{AP} = \frac{1}{18}(7\vec{AE} + 5\vec{AD}) = \frac{1}{18} \left(12 \cdot \frac{7\vec{AE} + 5\vec{AD}}{5+7} \right)$$

さらに、 $\vec{AF} = \frac{7\vec{AE} + 5\vec{AD}}{5+7}$ とおくと [F は ED を 5:7 に内分]

$$\vec{AP} = \frac{1}{18} \cdot 12 \cdot \vec{AF} = \frac{2}{3}\vec{AF}$$

線分 BC を 4:3 に内分する点を E とし、
 線分 ED を 5:7 に内分する点を F とすると
 点 P は、線分 AF を 2:1 に内分する位置にある.



始点を A に統一するために、差に分解する。 $\vec{AB} = \vec{AB} - \vec{AA}$
 \vec{AP} の形にした後、まず $3\vec{AB} + 4\vec{AC}$ を内分点の公式の形に変形する。
 分母に 4 + 3 をおき、つじつまを合わせるために 7 (= 4 + 3) を掛ける。
 内分点を E とし、同じことをもう一度行えば、P の位置が求まる。

(2) 四面体 ABCD の体積を V とする.

$$AF : PF = 3 : 1 \quad \text{より} \quad (\text{四面体 ABCD}) : (\text{四面体 PBCD}) = 3 : 1$$

$$\text{よって} \quad (\text{四面体 PBCD}) = \frac{1}{3}V$$

$$BE : EC = 4 : 3, \quad DF : FE = 7 : 5, \quad AP : PF = 2 : 1 \quad \text{より}$$

$$\begin{aligned} (\text{四面体 PCDA}) &= \frac{2}{3}(\text{四面体 FCDA}) \\ &= \frac{2}{3} \cdot \frac{7}{12}(\text{四面体 ECDA}) \\ &= \frac{2}{3} \cdot \frac{7}{12} \cdot \frac{3}{7}(\text{四面体 ABCD}) = \frac{1}{6}V \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (\text{四面体 PDAB}) &= \frac{2}{3}(\text{四面体 FDAB}) \\ &= \frac{2}{3} \cdot \frac{7}{12}(\text{四面体 EDAB}) \\ &= \frac{2}{3} \cdot \frac{7}{12} \cdot \frac{4}{7}(\text{四面体 ABCD}) = \frac{2}{9}V \end{aligned}$$

$$(\text{四面体 PABC}) = \frac{2}{3}(\text{四面体 FABC}) = \frac{2}{3} \cdot \frac{5}{12}(\text{四面体 ABCD}) = \frac{5}{18}V$$

$$\therefore \frac{1}{3}V : \frac{1}{6}V : \frac{2}{9}V : \frac{5}{18}V = 6 : 3 : 4 : 5$$

全体を V とおき、線分の比をもとに、各体積を V で表し、体積比を求める。

V の底面を $\triangle BCD$ 、高さを AF として、底面積の比と高さの比を両方考慮する。

底面積が等しい四面体の体積比は、高さの比に等しい。

また、高さが等しい四面体の体積比は、底面積の比に等しい。

ABCD と PBCD の比は、底面積 BCD が等しいから、高さの比ですぐ求まる。

本解は、PCDA \rightarrow ABCD の流れで求めたスマートな記述である。

実際には、無理せず、底面積の比と高さの比を別々に求めるとよい。

PCDA の底面積を $\triangle FCD$ 、高さを AP と考える。

底面積について、 $BE : EC = 4 : 3$ より、 $\triangle ECD : \triangle BCD = 3 : 7$

さらに、 $EF : FD = 5 : 7$ より、 $\triangle FCD : \triangle ECD = 7 : 12$

$$\text{よって、} \triangle FCD = \frac{7}{12} \triangle ECD = \frac{7}{12} \cdot \frac{3}{7} \triangle BCD = \frac{1}{4} \triangle BCD$$

また、高さについて、 $AP : AF = 2 : 3$

結局、ABCD と比較し、PCDA の底面積は $\frac{1}{4}$ 、高さは $\frac{2}{3}$ となる。

$$\text{したがって、} (\text{四面体 PCDA}) = \frac{1}{4} \cdot \frac{2}{3} (\text{四面体 ABCD}) = \frac{1}{6}V$$

他の体積も同様に考えていけばよい。

なお、平面と同様、 $a\vec{PA} + b\vec{PB} + c\vec{PC} + d\vec{PD} = \vec{0}$ のとき

$PBCD : PCDA : PDAB : PABC = a : b : c : d$ となる (暗記)。